

パキスタンポリオ撲滅に向けての視察団が出発しました。

ポリオをご存知でしょうか？ウィルスにより中枢神経組織への感染が起きる感染症で、小児麻痺として知られています。日本をはじめ多くの国ではワクチンの接種の普及により根絶されております。

しかし、まだ、ナイジェリア・アフガニスタン・パキスタン（調査が進み、その他の国でも確認されているようです。）では依然根絶できないでいます。

私たちが所属する国際ロータリークラブでも、長年ポリオ撲滅のための支援を行ってきております。

今年、茅ヶ崎中央ロータリークラブでは、30周年を向けるに当たり、東日本大震災よりお付き合いをさせていただいているAMD A（The association of Medical Doctors of Asia）の菅波代表より、まずは現地での支援活動を自分たちの目で見る事が大事であるとアドバイスを受け今回パキスタンに視察に行くことになりました。

今回の視察が実現したのは、AMD Aの働きかけによりNRSP（<http://nrsp.org.pk/>）の協力をえることができ、また、外務省・厚生労働省の支援あつてのことです。

また、事前調査の段階では、パキスタン大使館ファルーク大使には、大変貴重なご意見をいただきましたことに感謝をしております。

この視察を通してポリオの現状、撲滅活動の現実、かかわる方の思いを、肌で感じ、国際ロータリーの目指す「エンドポリオナウ」が一日でも早く実現するための日本での啓蒙活動の一助とできることを確信しております。

本日、茅ヶ崎より茅ヶ崎中央RCの3名の会員がパキスタン視察に向けて出発いたしました。

イスラマバードでは、保健省その他の国際機関の活動状況に関して意見交換をし、カラチでは、地元ロータリークラブが実践する活動について学び、タッタ地区では実際にポリオ接種の現場を視察する予定です。

